

新庄信用金庫レポート

DISCLOSURE (平成28年9月末)

SHINJO SHINKIN BANK

ごあいさつ

信用金庫は、協同組織形態の地域金融機関として、経営の健全性、透明性の確保を基本に、その社会的使命を果たし、会員をはじめとする地域の中小企業や住民の方々から、高い信頼と信認を得てきたところであります。

現下の金融機関をめぐる経営環境を見ますと、日本銀行による「マイナス金利政策」が今年2月に発表され、6月には消費税率の引き上げが2019年10月まで再延期されました。また、昨年12月に2万円台をつけていた日経平均株価は、年明けから下落し不安定な相場が続く、6月の英国EU離脱問題が表面化した際には、一時1万5千円台を割り込む局面もありました。それ以外にも米国政策金利引き上げ時期や、中国等新興国経済の減速、資源価格下落等の世界経済リスクの高まりにより、昨年120円台だった円ドル相場が、現在では100円台と円高圧力の根強い状況となっております。

このような情勢下、地方創生の掛声はあるものの地域経済は相変わらず閉塞感の中にあり、売上不振企業も増加、個人消費は引き続き横ばい圏、賃金の伸び率が鈍化している等厳しい状況が続いております。

以上の経営環境のもと、お客様との「共通価値の創造」構築に向けて、地元になくてはならない金融機関として『地域社会の繁栄に貢献する』ことを経営理念とし、役職員一致協力して努力する所存であります。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成28年11月

理事長 井上 洋一郎

CONTENTS

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）
2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項
3. 預金・貸出金の状況（残高）
4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）
5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）
6. 総代会の機能・総代の氏名等
7. CSR進捗状況
8. 地域貢献
9. トピックス

（記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません）

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

（単位：百万円）

債務者区分※	平成28年9月末	平成28年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	462	355
危険債権	2,859	2,961
要管理債権	717	724

（注） 上記の平成28年9月末の計数は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規制」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数と異なるため、計数は連続しておりません。

- 平成28年9月末の「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分を前提とし、同年3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の変更をしております。この場合、債務者区分が下方へ変更になった場合を対象とし、債務者に対する債権額を新たに加算、元の債務者区分欄から減額しております。
- 平成28年9月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分を前提とし、同年3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヵ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。

また、平成28年3月末時点の自己査定金額を基準として、半期中の増減額を勘案しております。

※ 債務者区分

- ・破産更正債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
- ・危険債権（破綻懸念先）
- ・要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、貸出条件を緩和している債権）

2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項

（単位：％、百万円）

項 目	平成28年9月末	平成28年9月末 （経過措置による不算入額）	平成28年3月末	平成28年3月末 （経過措置による不算入額）
単体自己資本比率	10.67	-	10.75	-
コア資本に係る基礎項目の額	4,717	-	4,677	-
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	2	3	2	4
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	-	-
前払年金費用の額	29	44	31	47
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	10	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額	42	-	34	-
自己資本の額	4,675	-	4,643	-
リスク・アセット等の額の合計額	43,819	-	43,172	-
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,604	-	1,578	-
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	148	-	148	-
単体総所要自己資本額	1,752	-	1,726	-

3. 預金・貸出金の状況（残高）

（単位：百万円）

	平成28年9月末	平成27年9月末	平成28年3月末
預金	66,692	65,445	64,789
貸出金	38,798	37,769	39,079

4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）

（単位：百万円）

	平成28年9月末	平成27年9月末	平成28年3月末
製造業	2,959	3,000	2,941
農業、林業	291	203	192
建設業	2,359	2,555	2,759
運輸業、郵便業	372	362	358
卸売業、小売業	2,235	2,402	2,416
金融業、保険業	2,053	2,052	2,052
不動産業	7,539	7,472	7,364
物品賃貸業	51	65	81
学術研究、専門・技術サービス業	22	31	36
宿泊業	632	580	681
飲食業	631	584	574
生活関連サービス業、娯楽業	674	677	647
教育、学習支援業	121	18	112
医療、福祉	1,381	1,317	1,427
その他のサービス	3,268	3,106	3,014
小計	24,596	24,431	24,662
地方公共団体	1,158	1,022	1,634
個人（住宅・消費・納税資金等）	13,043	12,315	12,782
合計	38,798	37,769	39,079

（注）業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

（単位：百万円）

	平成28年9月末				平成28年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	16,299	△ 935	398	1,334	15,388	△ 490	433	924
株式	366	△ 71	10	81	418	△ 55	19	75
債券	1,617	9	13	4	2,223	19	19	0
その他	14,315	△ 873	375	1,249	12,746	△ 454	393	847

	平成28年9月末				平成28年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-

- （注） 1. 平成28年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成28年9月末時点の帳簿価格と時価との差額を計上しております。
 2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は、決算上に影響しません。

6. 総代会の機能・総代の氏名等

【総代会の機能について】

総代会は、当金庫の会員の中から定款に定める方法によって選任された総代で組織される最高議決機関です。

【総代の氏名等について】

1. 総代の氏名等

選任区域	人数	氏名・就任回数（丸内数字）
新庄地区	35名	藤田 敏雄⑧ 吉田 慶一③ 井上 光雅⑧ 片岡 潤二③ 永井 利見⑧ 富田 久三郎⑧ 五十嵐 敏三⑧ 富樫 利宏⑦ 沼澤 孝人⑦ 阿部 克③ 稲川 辰也⑧ 海藤 健治⑤ 沼澤 正則⑦ 井上 貞治⑤ 山科 昭雄⑦ 赤松 正文④ 庄司 平八⑦ 伊藤 雄一④ 阿部 浩悦⑦ 佐藤 啓④ 高橋 友三郎⑧ 田澤 雅宏④ 森 新昭⑧ 長南 雅行④ 清水 一磨⑧ 早坂 幸久④ 江口 好彦⑧ 森 俊明④ 八戸 啓次郎⑦ 涌井 正和④ 菅 信二⑦ 涌井 洋一④ 井上 孝雄⑧ 結城 敏夫③ 長倉 洋一郎⑧
最上郡地区	15名	柴田 清正③ 川田 幸一⑥ 佐藤 景一郎⑧ 佐々木 重四郎⑥ 笹原 一郎⑧ 大場 利秋⑦ 川崎 藤兵衛⑧ 青柳 富士男④ 岸 伊和男⑧ 石山 洋一④ 白倉 周二⑧ 庄司 和敏④ 矢作 勝太郎⑧ 熊谷 市夫③ 山科 昌英⑧
天童・大石田地区	11名	有路 好彦⑥ 垂石 祐一郎⑦ 富樫 啓一⑧ 山口 孝之⑥ 庄司 正彦③ 押野 隆吉④ 土田 和平⑧ 藤橋 与惣吉④ 海和 貞三⑧ 荒木 正憲④ 村山 与四郎⑦

2. 総代の属性別構成比

職業別	比率（％）
法人代表者	55.7
個人事業主	32.8
個人	11.5
合計	100.0

年代別	比率（％）
40～49歳	4.9
50～59歳	9.8
60～69歳	27.9
70歳以上	57.4
合計	100.0

職業別	比率（％）
製造業	14.8
農業、林業	1.6
建設業	13.1
卸売業、小売業	34.5
不動産業	8.2
学術研究、専門・技術サービス業	1.6
宿泊業	1.6
生活関連サービス業、娯楽業	4.9
医療、福祉	4.9
その他のサービス	14.8
合計	100.0

7. CSR進捗状況

(コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ)

CSRとはCorporate Social Responsibilityの略で、一般的に「企業の社会的責任」と言われます。

～ご存知ですか？CSR～

企業の事業継続性(サステナビリティ)は財務諸表のみではなく、お客様、職員や地域社会などの存立基盤によって形成されるものであり、こうした多面的な配慮が、企業の将来的な発展には必須の条件であるという考え方です。協同組織である当金庫は、日頃の本業を通じた事業活動そのものが、CSR活動に結び付いております。



亀有信用金庫と「業務提携に関する覚書」を締結

◆ コーポレートガバナンス（企業統治）

・お客様の声に耳を傾けます。

当金庫では、お客様から頂いたご意見等を参考に、様々な活動を行っております。これからも、地域に密着したより良い金融機関を目指すため、ご協力をお願いいたします。

<進捗状況>

- ・ 社会保険労務士との連携による「個別年金相談訪問」を実施しております。
- ・ 国の事業である「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に取り組んでいる山形大学「学企連携プラットフォーム」に参加し、営業係がお客から承った課題に応じて最適な専門家を派遣しております。



「山形大学認定産学学企連携コーディネーター研修・スキルアップ研修」に職員が参加いたしました。現在、14名の職員が認定を受けております。



日本ファイナンシャル・プランナーズ協会の小学生作文コンクール図書『夢をかなえる』を営業エリアの小学校対象に約3,000冊贈呈しました。

◆ ステークホルダー（当金庫を取り巻くあらゆる利害関係者の方々）

・お客様からの相談にアドバイスできるよう努力しております。

当金庫では、お客様の堅実な資産作りのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様の現状や将来の生活設計に役立てるよう、ご相談機能や、新商品の開発、サービスの一層の充実に向け、職員一丸となってFP（ファイナンシャルプランナー）技能士資格取得を目指し、努力してまいります。

<進捗状況>

- ・ 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会のAFP資格とCFP資格取得に向けた取組を継続しております。
- ・ 大学教授、大手企業経営者による経営塾や、社会保険労務士・コンサルタントによる経営相談を実施しております。
- ・ 山形大学と共に顧客の課題発掘・解決に関する取組を行っております。

◆ エコロジー・社会貢献

・NPO法人バイオマスものがみの会と共に、バイオマス（生物資源）の利用研究に関する普及啓発活動や、企業の森づくり活動、新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営等、明るく住みよい地域社会づくりに貢献しています。

<里山地域の「森づくり活動」>

- ・ 60名の参加者で「森のホームステイによる絆の森PR活動 in あじさいまつり」イベントを開催いたしました。
- ・ 102名の参加者で「遊歩道下刈り整備、植樹したブナのメンテナンス、森の材料でクリスマス・リース作り、芋煮会」を行いました。

<新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営>

- ・ 当金庫敷地内において、献血バスによる近隣の住民対象の献血活動を行いました。



8. 地域貢献

新庄信用金庫と地域社会

～ 地域に根ざしたコミュニティバンクをめざして ～

< 当金庫の地域経済活性化への取組みについて >

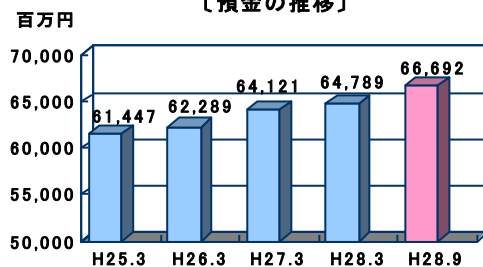
当金庫は山形市以北の村山、新庄・最上地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となつて、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切なお金（預金積金・出資金）は、地元で資金を必要とするお客様に貸し出され、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の方々との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでおります。

◆預金積金残高【66,692百万円】

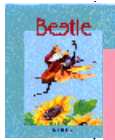
当金庫では、地域のお客様の堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様からご利用いただけるよう新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

〔預金の推移〕

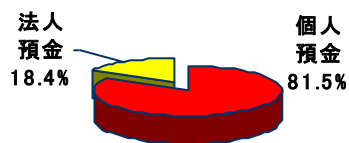


◆「えほん定期」(夢がかなう本)

えほんの主人公に、お子様等のお名前が入った、世界でたった1冊の自分だけのオリジナル絵本をプレゼントします。



〔預金者別預金残高〕



新
庄
信
用
金
庫

地
域
の
お
客
様
／
会
員
の
皆
様

預金積金／出資金

「地元」で預けて頂いたお金は「地元」へ。

貸出金／支援サービス

◆貸出金残高【38,798百万円】

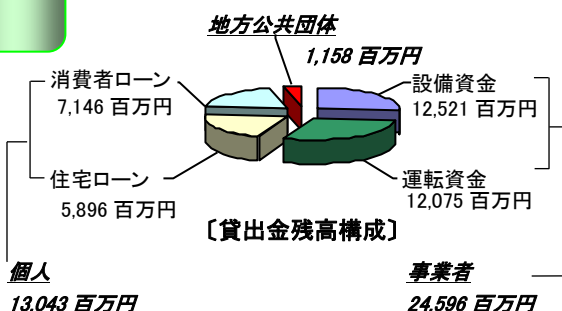
預金積金に対する割合【58.1%】

地元のお客様からお預け入れいただいた預金積金につきましては、お客様の様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資するためにご融資を行い、地域社会に還元しております。その結果、個人のお客様を含めた地域の事業者の皆様に対し、総貸出金の約91.0%をご融資しております。（その他は、地方公共団体へのご融資です）

◆取引先への支援等

当金庫は、業績低下に苦慮しているお客様に親身になって相談し、打開のための改善策や経営改善計画書等へのアドバイスをするなど、金銭面だけでなく生きた支援を心掛けております。

また、お取引先事業経営者への情報提供と、異業種交流・親睦を図る場として「しんきんエグゼクティブクラブ」を運営し、経済・文化講演会や各種セミナー等を開催、お取引先様の発展と繁栄のお手伝いをしております。



◆新規創業支援

地域の活性化を目的とした創業支援商品「コミュニティビジネスローン」や、街づくりを支援する「NPOサポートローン」がございます。



9. トピックス

地域貢献・CSR

新庄市エコロジーガーデンの緑豊かな自然環境をキャンパスにしてランドスケープによるアートを展示する「kitokito 環境芸術祭」において協賛しております。



山形大学・最上総合支庁主催の企業向け勉強会「最上夜学」や、イベント・コンサートを定期的にレキシントン新庄にて開催・支援を行っております。



学生のインターンシップを受け入れ、茶道や金庫業務を実際に体験していただきました。



イベント

毎年恒例の「ビールパーティー」を本店の屋上にて開催。



読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏を迎え、本店6階ホールで講演会を開催。



お客様を対象とした小旅行を開催（10月に北海道新幹線旅行を実施）。



新庄商工会議所・新庄信用金庫・山形大学の三者による【会議所・しんきん・山形大学 経営塾】



新庄商工会議所、新庄信用金庫と山形大学の三者が共同して、新庄最上地域の経営者及び後継者を対象とする「経営塾」を開講しました。この経営塾は、地域の皆様の経営力向上とリーダーとしての見識を高めることを目的とした1年間の育成プログラムが用意され、第一線の経験豊富な講師から最新の経営スキルを学び、それぞれの事業を発展させていく方法を学べる内容となっております。

国登録有形文化財 新庄エコロジーガーデン原蚕の杜「キトキトマルシェ応援定期預金」



国の登録有形文化財である新庄エコロジーガーデンや、同施設で定期的に行われる kitokitoMARCHE（キトキトマルシェ）の運営を支援する新庄エコロジーガーデン原蚕の杜「キトキトマルシェ応援定期預金」を企画し、預金残高に応じて100万円を新庄市に寄付しました。

経済産業省「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」、山形大学との連携

当金庫は山形大学と様々な形で連携しております。特に、山形大学工学部、山形大学国際事業化研究センターとの間では、地元中小企業の事業支援のための連携協力協定を締結しております。



また、平成28年度も国の事業である「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に取り組んでいる山形大学「学企連携プラットフォーム」に参加し、事業者の皆様のような経営課題に関する相談に応じて、適切な専門家による支援を行っています。



山形大学との連携による「産学連携横町」に参加し、ビジネスマッチ東北2016にて11社の顧客企業出展をサポートしました。

亀有信用金庫主催 「新現役交流会」に参加



顧客企業に対するコンサルティング機能の一環として、亀有信用金庫が主催した「新現役交流会」に参加しました。この取組みは、様々な課題を抱える中小企業と、実務経験が豊富な上場企業等大手退職者の方とのマッチング交流会となっております。当金庫のお取引先4社から参加していただきました。

やまがた絆の森における里山地域の「森づくり活動」

山形県の森づくりによる二酸化炭素削減の推進、地域活性化などを目指した「やまがた絆の森プロジェクト」において、新庄信用金庫、NPO法人バイオマスもがみの会、山形銀行、山形県、柴草山管理組合、新庄市の6者間で「やまがた絆の森『しんきん結(ゆい)の森・ぐるっと花笠の森【新庄】』」として協定を締結し、活動を継続しております。

このプロジェクトで私どもは、地域住民、企業が気軽に森づくりを行い、活動成果を実感できる仕組みを構築するためにバイオマスもがみの会等と共にコンソーシアムを形成し、下記のような活動を行っています。



平成28年7月3日(日)

「森のホームステイによる絆の森PR活動」

- ・新庄市あじさいまつりイベントにて60名の参加者で「森のホームステイによる絆の森PR活動 in あじさいまつり」を行いました。

平成28年11月12日(土)

「遊歩道下刈り整備、植樹したブナのメンテナンス、森の材料でクリスマス・リース作り、芋煮会」

- ・102名の参加者で全長約700mの遊歩道下刈り整備と、4年前に植樹したブナのメンテナンス、森の材料でクリスマス・リース作りを行いました。

平成28年11月発行

新庄信用金庫 総合企画室

〒996-0027 山形県新庄市本町2番9号

TEL. 0233-22-4222 (代表)

The background of the entire page is a close-up photograph of a teal-colored fabric, possibly silk or satin, with deep, flowing folds and highlights that create a sense of movement and texture. The lighting is soft, emphasizing the sheen and contours of the material.

SHINJO SHINKIN BANK